



令和6年度 公開講座


集団を育てるために活用できる プレイバックシアターとリスニングアワー

プレイバックシアターは、個人の経験（ストーリー）を語り、演じるもので、リスニングアワーは、ストーリーを語り、聞くものです。ここで使われるシアターゲームなどの指導スキルは、集団を育てるために活用できます。馴染みの薄いメンバーがどのように親しみを感じる関係になっていくかといったグループプロセスを体験的に学びます。

日時	令和6年9月22日(日) 9時20分～16時30分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 作業療法学コース 教授 吉川 ひろみ
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館 4102地域連携センター室 (三原市学園町1-1)
対象	教育・医療・福祉関係者、地域活動のリーダー
定員	15名
受講料	1,000円
申込締切	令和6年9月6日(金)
問合先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和6年度公開講座「集団を育てるために活用できるプレイバックシアターとリスニングアワー」

内容	1	ソシオメトリとウォームアップ	吉川ひろみ、古山千佳子、高木雅之、織田靖史
	グループを形成していくプロセスを体験的に学びます。マッピングやアイデンティティゲームを通して、見た目ではわからない個人の特性や心理を、参加者同士で共有します。メンバーの様子をどのように評価するか、インクルーシブなグループに近づくためにどのような声かけが必要か、指導法についても学びます。		
	2	シアターゲームを使ったグループ形成	吉川ひろみ、古山千佳子、高木雅之、織田靖史
	演劇の要素を含むさまざまなゲームを体験します。声や動きで表現したり、相手の声や動きに反応したりします。遊び心を刺激する種々のゲームを体験しながら、グループの雰囲気の変化を観察します。指導者の立ち位置や言葉遣いの効果についても学びます。		
	3	リスニングアワー	吉川ひろみ、古山千佳子、高木雅之、織田靖史
	ストーリーを聞くことに焦点を当てた手法であるリスニングアワーを体験します。参加者が語る過去の経験（ストーリー）が、互いに結びつくことによるグループの変化を観察します。ストーリー同士のつながり、共鳴し合うテーマを確認します。ガイド（リスニングアワーの進行役）が何に配慮し、言葉の選び方が集団に与える影響を考察します。		
内容	4	プレイバックシアター	吉川ひろみ、古山千佳子、高木雅之、織田靖史
	参加者が語る経験を、プレイバックシアターのトレーニングを受けた劇団員が即興で演じます。参加者は主に観客として劇を見ることになりませんが、希望があれば演じ手（アクター）や楽器演奏（ミュージシャン）の体験もできます。パーソナルストーリーの価値について考察します。		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。 ・飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違うと感じる場合、出席をご遠慮ください。 <p>※当日は、動きやすい靴と服装でご参加ください。 ※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=928</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		